

# 豚熱の防疫を考える！！

## ～豚熱を発生させないために～

開催日時 令和4年11月16日(水) 13時30分～17時00分

Zoomウェビナーによる配信となります。

QRコードからお申し込みください。申し込み締め切り11月4日(金)。

視聴URL及び講習会資料は後日メールでお送りします。

参加費 **無料**、接続定員500名まで



### 講演 1



演題名：豚熱の防疫を考える

講師：山本 健久 先生

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域

疫学・昆虫媒介感染症グループ長

2018年9月に岐阜県で豚熱の再発が確認されて以来、国内ではこれまでに84例が確認され、158農場と5か所のと畜場で合計35万頭あまりが殺処分されている(2022年9月末現在)。感染した野生イノシシが発見される地域の拡大に伴って、農場での感染もより広い地域に拡大していった。統計的にも、感染野生イノシシの確認地点が近いほど農場の感染リスクが高くなることが示されている。豚へのワクチン接種の開始以降もワクチン接種農場での発生が散発しているが、これらはいずれもワクチン未接種豚かワクチンによる免疫が十分得られる前の離乳豚で起きている。野生イノシシの感染地域において農場を感染から守る上では、ワクチンだけに頼らない対策が求められることから、生産者と獣医師との間で適切なコミュニケーションを確立し、隙のない対策を講じ、継続していく必要があるだろう。

### 講演 2



演題名：CSF4年目～発生事例から学ぶ防疫の考え方

講師：早川(菅谷) 結子 先生

アイデアス・スワインクリニック 院長

2018年岐阜県にて26年ぶりに豚熱が発生してから今年で4年目を迎えた。これまでさまざまな対策が取られてきたものの、残念ながら今現在も断続的に豚熱発生ニュースに養豚業界は震撼させられている。豚熱発生予防の最大の肝である防疫は、どのようにあるべきなのか。現場に密接した立場から、これまでの発生事例をもう一度学び直しつつ、具体的な対策を提案する。

主催：公益社団法人 日本獣医師会

開催：公益社団法人 千葉県獣医師会